

関係者様各位

令和3年3月吉日

刈谷市空手道連盟
大会会長 大西 健介
大会実行委員長 瀬戸口 利秋

第2回市長杯空手道大会兼第5回刈谷市空手道選手権大会

- 1、目的 本大会は、空手界の現存する競技種目を一つの大会で披露し、空手道の真義を広く一般に紹介するとともに、青少年の健全な育成を啓発し、日々の修練に励む選手ならびに関係者の相互の親睦を広め、ひいては社会の平和に貢献することを目的とする。
- 2、名称 第2回市長杯空手道大会 兼 第5回刈谷市空手道選手権大会
- 3、日時 令和3年6月20日(日) AM8:30 選手集合、受付
AM9:30 開会式
- 4、会場 刈谷市体育館アリーナ (刈谷市逢妻町4-32)
- 5、主催 刈谷市スポーツ協会
- 6、主管 刈谷市空手道連盟
- 7、後援(予定) 愛知県、愛知県教育委員会、(公財)愛知県スポーツ協会、
刈谷市、刈谷市教育委員会、全日本空手道連盟錬武会
- 8、競技種目及び競技規定等
個人形 ①初級クラスは平安・撃砕基本形、上級クラスは自由形
トーナメント方式
【初級クラス】小学生2学年男女別、中学生男女別、高校・一般・壮年男女別
【上級クラス】 同上
(お願い) エントリークラスについて
・形試合経験3年未満を目安とするが、各団体代表者の判断に委ねる。
・エントリー数によってはクラスを統合する

個人組手②寸止めルール (全日本空手道連盟競技規定に準ずる)
トーナメント方式
【小学生2学年男女混合、中学生男女別、高校・一般・壮年男女別】

③防具付ルール (全日本防具付空手道競技規定に準ずる)
トーナメント方式
【幼児男女別、小学生学年男女別、中学1年男女別、中学2・3年男女別、
高校男子、高校・一般女子・一般・壮年男子・壮年女子】
(お願い) エントリークラスについて
・エントリー数によってはクラスを統合する

④フルコンタクトルール（JKJOルールに準ずる）
トーナメント方式

【初心クラス（上段蹴り無し）】年少から小学6年までの男女。

【初級クラス（上段蹴り有り）】幼年から中学3年までの男女。

【上級クラス】幼年から中学3年までの男女。

（お願い）エントリークラスについて
・エントリー数によってはクラスを統合する

*形・寸止め・防具付部門の壮年の部参加条件は大会当日40歳以上であること

*クラス分けは各申込書を参照

*それぞれの競技規定は一部刈谷市空手道連盟申し合わせによるものとする

9、参加費 個人組手 3,000円

個人形 2,200円(マウスシールド代(200円)含む)

(昼食は各自で持参してください)

複数エントリー可(形・寸止め・防具付・フルコンタクト)

10、当日、組手・形参加申込可、各クラス2名まで。

個人組手 3,000円・個人形 2,200円(昼食は各自で持参してください)

11、安全管理 選手は事前の健康診断・管理に充分留意し、健康な状態で参加すること。

本大会における事故については、当会では一切責任を負いません。
参加道場でスポーツ障害保険などに加入すること。

本大会実行委員会が提示するコロナ感染防止対策に協力すること
(別紙参照)

12、参加申し込み 5月1日(土)必着

参加申込書と参加費を下記までお願い致します。

申込書送付先

①現金書留：〒470-2101 知多郡東浦町森岡前田13-3

大会事務局 辻 好美 宛

電話/FAX 0562-77-2404

携帯 090-3554-8833

②振込先：三菱東京UFJ銀行 刈谷支店 店番 411 普通 0425480

刈谷市空手道連盟 理事長 瀬戸口 利秋

第2回市長杯兼第5回刈谷市空手道選手権大会開催にあたり 感染防止等のご案内

1・コロナ感染拡大防止のため、下記事項の徹底をお願いします。

①選手・観覧の皆様すべての方にコロナ感染防止対策にご協力をお願いします。

手洗い・うがいの励行、マスク着用、入場前の検温、拍手での応援（大声を出さない）

②当日、アリーナ入口にて、観覧の方全員に非接触体温計で検温をさせていただき、37.4℃以上あった方は入室をお断りいたします。

また、検温済みの方にはその証として、左肩にシールを貼付させていただきますのでご協力お願いします。

③選手が他のクラスを見学する場合、三密の状況次第で可能ですが、譲り合いをお願いします。

④会場内での保護者様の応援はご自身のお子様の試合は1階で、その他は観客席にてお願いします。
会場外（入口付近）からの見学は三密になり得る為、ご遠慮ください。

⑤試合会場内（1階）では選手及び保護者専用通路を設定しております。

表示に従っていただきますようお願いいたします。

2・キャンセルについて

①コロナ感染に関わる理由（社会情勢の変化、感染や濃厚接触者疑いとなった場合など）でのキャンセルは、大会当日まで受け付けます。その場合、納入済みの参加費は団体代表者を通じて全額返金致します。

②コロナ感染に関係のないキャンセルや無断欠席の場合は、参加費の返金は致しません。

3・その他

①参加を申し込まれた選手には、後日、集合時間・試合時間・試合終了時間の詳細案内及び当日の流れをご案内いたします。

②開会式・表彰式・閉会式は全体では行わず、表彰は各クラス終了後、メダルのみ随時渡し、表彰状は後日、団体代表者を通じてお渡しします。写真撮影ブースを用意しますので、入賞者は各自で写真撮影してください。

③駐車場：駐車場の混雑が予想されます。駐車場は亀城公園前駐車場の他に体育館北側の臨時駐車場、体育館西側（体育館裏）の河川敷をご利用ください。また入り口は体育館入り口及び武道場入り口をご利用ください。

感染予防マニュアル

<形選手装備>

①マウスシールド（参加申し込みと同時に購入申し込みとなります。商品到着次第、団体代表者を通じお渡ししますので、大会当日までに練習でも使用していただき、大会当日は忘れないようお願いいたします。忘れた場合は実費にて再購入になります。）

<防具付組手選手装備>

①面インナーは個人持ちとし、レンタルする場合は1日1選手専用で貸し出します。

②グローブ装着時はインナーとして軍手を使用する

③胴のレンタルは出来ませんが、胴下にタオルを使用し、直接皮膚に触れないようにしていただきます。

<フルコン組手装備>

①ヘッドギアは個人持ちとし、レンタルする場合は1日1選手専用で貸し出します。

②その他のサポーター類は個人持ちとする

<主審装備とコロナ対応>

①フェイスシールド

②マスク

③ハンズフリー拡声器

- *ハンズフリー拡声器を使用し、必要以上の大声を出しません
- *ハンズフリー拡声器の受け渡し時は、マイクスポンジを交換、除菌します
- *判定の旗に対して合図は電子笛（時計係使用）を使います。その際、受け渡し時は必ず除菌します
- *適宜、手指消毒します
- *拡声器を使用し選手呼び出しを行います
- *クラス選手召集時、クラス解散前に選手の手指消毒（手にスプレーしてあげる）
 脣を舐めたかの確認、体調確認、防具の必要物品忘れがないかの確認をする
- *1回戦終了毎に集め、赤白に分ける。負けた選手で防具レンタルしている者は、防具消毒エリアに防具を返しに行くように指示、置いたらコートに戻るよう指示する

<副審装備とコロナ対応>

①フェイスシールド

②マスク

③白色の笛

- *旗は1日を通して同じものを使用します（共有しない）
- *もし、誰かの旗を借りる、貸す場合は、持ち手部分を消毒する
- *マスクの中で笛を使用します
- *クラス終了毎に手指消毒します

<運営スタッフ装備とコロナ対応>

①フェイスシールド

②マスク

③ビニール手袋

- *記録席は間隔を空けて座ります
- *防具の消毒時はビニール手袋をします
- *1選手に1スタッフが介助し、次の選手に関わる前に手指消毒を行います
- *各クラスの入替え時、床を消毒します

<レンタル用防具消毒>

①使用した防具をブルーシート上に置く

②防具用消毒スプレーを噴霧する

③ビニール手袋、軍手の順にはめて、噴霧された防具を拭きあげる

（面：内側口回り→内側全体→外側口回り→外側全体→後頭部布部分）

（胴：首回りの布部分→プラスチック接続部分）

（グローブ：外側拭けるところ）

（結束バンド：全部拭く）

④消毒済みの防具は衣装ケースに入れる（ふたはしない）

<防具付け介助>

①1人の選手に対し1人が介助する

②1人済んだら手指を消毒してから、別の選手の介助に入る。

<床の消毒>

試合クラスの入替え時、床を消毒します

第 2 回市長杯兼第 5 回刈谷市空手道選手権大会 形部門 申込書

日時：令和 3 年 6 月 2 0 日(日)AM9:30 開会
会場：刈谷市体育館アリーナ

刈谷市空手道選手権大会実行委員長 殿

刈谷市空手道選手権大会に参加する旨、ここに申請いたします。

また、この大会で競技試合中に身体の障害、損害、事故、所有物の損失などの生じる可能性のある旨を承認いたします。

この大会の主催者、執行委員並びに全ての関係者に対して、現在又は将来起こり得るいかなる種類または性質の訴因、損失、訴訟費用等、一切の賠償請求並びにその権利をここに 放棄いたします。

さらにこの大会に関係する私個人の、又は私の所有するいかなる写真もこの大会、促進のために無償で使用されましても異議なき旨、ここに承認いたします。

令和 年 月 日

団体代表者 _____ 印

選手氏名 _____ 印

(未成年者の場合) 選手保護者氏名 _____ 印

(フリガナ)		男	平成 年 月 日生 歳
選手名		女	小中高 年生
選手住所	〒 - TEL () -		
身長/体重	cm / kg	段級位	級 ・ 段
道場名		入賞歴	(過去 1 年以内の入賞)

参加クラスに○を付けてください

初 級	1:小学 1・2 年男子	2:小学 1・2 年女子	3:小学 3・4 年男子
	4:小学 3・4 年女子	5:小学 5・6 年男子	6:小学 5・6 年女子
	7:中学男子	8:中学女子	9:高校・一般男子
	10:高校・一般女子	11:壮年男子	12:壮年女子

上 級	1:小学 1・2 年男子	2:小学 1・2 年女子	3:小学 3・4 年男子
	4:小学 3・4 年女子	5:小学 5・6 年男子	6:小学 5・6 年女子
	7:中学男子	8:中学女子	9:高校・一般男子
	10:高校・一般女子	11:壮年男子	12:壮年女子

※各クラス参加者が少ない場合は統廃合する場合がございます。

※壮年の部は大会当日において 40 歳以上が対象です。

第5回 刈谷市空手道選手権大会フルコンタクト部門申込書

大会会長 殿

- ・私議、本大会のルールに従って正々堂々と技を競い合うことをここに誓います
- ・試合中における負傷・事故に対する一切の異議申し立てをいたしません。
- ・大会で撮影された写真の肖像権は主催者に帰属します。

道場代表者名



保護者氏名



団体名			所在地	(〒 -)			
支部名	支部		TEL	()			
ふりがな	男	生年月日	平成 年 月 日	学年			
選手氏名	女		(才)				
住所	(〒 -)		TEL	()			
級・段位	級 段	修業年数	年 々月	身長	cm	体重 kg	
大会入賞歴							
出場希望 クラス	初心	年少男女	年中男女	年長男女	小1男女	小2男女	小3男女
		小4男女	小5男女	小6男女			
	初級	幼年男女	小1男女	小2男女	小3男女	小4男女	小5男女
		小6男女	中学男子	中学女子			
	○で囲む	幼年男女	小1男子	小2男子	小3男子	小4男子	小5男子
		小6男子	中1男子 50kg未満	中1男子 50kg以上	中2.3男子 50kg未満	中2.3男子 50kg以上	
		小1女子	小2女子	小3女子	小4女子	小5女子	小6女子
		中1女子 50kg未満	中1女子 50kg以上	中2.3女子 50kg未満	中2.3女子 50kg以上		
※参加人数の少ないクラスは混合クラスとなる場合がございます							

第2回市長杯第5回刈谷市空手道選手権大会 防具付組手部門申込書

日時：令和3年6月20日(日)AM9:30 開会
会場：刈谷市体育館アリーナ

刈谷市空手道選手権大会実行委員長 殿

刈谷市空手道選手権大会に参加する旨、ここに申請いたします。

また、この大会で競技試合中に身体の障害、損害、事故、所有物の損失などの生じる可能性のある旨を承認いたします。

この大会の主催者、執行委員並びに全ての関係者に対して、現在又は将来起こり得るいかなる種類または性質の訴因、損失、訴訟費用等、一切の賠償請求並びにその権利をここに放棄いたします。

さらにこの大会に関係する私個人の、又は私の所有するいかなる写真もこの大会、促進のために無償で使用されましても異議なき旨、ここに承認いたします。

令和 年 月 日

団体代表者 _____ 印

選手氏名 _____ 印

(未成年者の場合) 選手保護者氏名 _____ 印

(フリガナ)		男	平成 年 月 日生 歳
選手名		女	小中高 年生
選手住所	〒 - TEL () -		
身長/体重	cm / kg	段級位	級 ・ 段
道場名		入賞歴	(過去1年以内の入賞)

参加クラスに○を付けてください

1:幼児男女 (上段無)	2:小学1年男子	3:小学2年男子	4:小学3年男子
5:小学4年男子	6:小学5年男子	7:小学6年男子	8:小学1年女子
9:小学2年女子	10:小学3年女子	11:小学4年女子	12:小学5年女子
13:小学6年女子	14:中学1年男子	15:中学2・3年男子	16:中学1年女子
17:中学2・3年女子	18:高校生男子	19:高校・一般女子	20:一般男子
21:壮年女子	22:壮年男子		

※各クラス参加者が少ない場合は統廃合する場合がございます。

※壮年の部は大会当日において40歳以上が対象です。

第2回市長杯兼第5回刈谷市空手道選手権大会 寸止め部門申込書

日時：令和3年6月20日(日)AM9:30 開会
会場：刈谷市体育館アリーナ

刈谷市空手道選手権大会実行委員長 殿

刈谷市空手道選手権大会に参加する旨、ここに申請いたします。

また、この大会で競技試合中に身体の障害、損害、事故、所有物の損失などの生じる可能性のある旨を承認いたします。

この大会の主権者、執行委員並びに全ての関係者に対して、現在又は将来起こり得るいかなる種類または性質の訴因、損失、訴訟費用等、一切の賠償請求並びにその権利をここに放棄いたします。

さらにこの大会に関係する私個人の、又は私の所有するいかなる写真もこの大会、促進のために無償で使用されましても異議なき旨、ここに承認いたします。

令和 年 月 日

団体代表者 _____ 印

選手氏名 _____ 印

(未成年者の場合) 選手保護者氏名 _____ 印

(フリガナ)		男	平成 年 月 日生 歳
選手名		女	小中高 年生
選手住所	〒 - TEL () -		
身長/体重	cm / kg	段級位	級 ・ 段
道場名		入賞歴	(過去1年以内の入賞)

参加クラスに○を付けてください

1:小学1・2年男女混合	2:小学3・4年男女混合	3:小学5・6年男女混合
4:中学男子	5:中学女子	6:高校・一般男子
7:高校・一般女子	8:壮年男子	9:壮年女子

※各クラス参加者が少ない場合は統廃合する場合がございます。

※壮年の部は大会当日において40歳以上が対象です。

第2回市長杯兼第5回刈谷市空手道選手権大会 出場選手エントリー (道場名)

	種目	選手名	ふりがな	性別	段級位	学年	身長(cm)	体重(kg)	参加費	入賞歴
例	フ初心小5男女	刈谷 太郎	かりや たろう	男	3	小学5年	140	40	3000	無
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										
36										
37										
38										
39										
40										
41										
42										
43										
44										
45										
46										
47										
48										
49										
50										
51										
52										
53										
54										
55										

合計 0

刈谷市空手道選手権大会公式ルール(JKJOルールに準ずる)

【試合時間】本戦1分30秒(初心は1分) 延長1分マストシステム【審判員】主審を含めた5名(3名)の審判員が競技の審判にあたるが、競技に関する最終決定は全て審判長の裁可による。／一本・技あり・反則・場外・判定などの場合は、5名(3名)の審判員のうち3名(2名)以上の判断で有効とする。2名(1名)以下及び主審のみの判断は認めない。但し、5名(3名)の審判員はそれぞれに意義を申し立て協議する権利を有する。【一本勝ち】反則箇所を除く部分への突き・蹴りなどで瞬間的に決め、そのダメージにより相手を倒した場合はすべて一本勝ちとします。／ダメージにより、泣いて戦意喪失した場合。／技あり二本を取った場合(合わせ一本)。【技有り】反則箇所を除く部分への突き・蹴りなどを瞬間的に決め、そのダメージにより一時的に動きが止まった場合。または、崩れた場合、戦意を喪失した場合は技ありとします。／ノーガードで相手選手の上段に蹴り技がヒットした場合。／上段蹴りにより、ガードをしてもバランスを崩し倒れた場合。／前蹴り・下段蹴りで相手選手をきれいに転倒させて、下段突きをした場合。／下段蹴りなどで、相手選手が足を引きずる様な場合。／同時に蹴りが入った場合は、先に入った方が技ありとし、まったく同じ場合は相打ちとし技ありとはならない。【判定】一本勝ち、失格がない場合は、主審1名、副審4名(2名)のうち3名(2名)以上の審判の判断を有効とする。／技有りがある場合は、技ありを優先する。／技有りがない場合は、ダメージを優先する。／ダメージのない場合は、有効打を含めた手数・足数を優先する。／有効打を含めた手数・足数が同じ場合は、気迫が勝っている方を勝ちとする。／「注意」「減点」がある場合は「審判判断基準」に基づく。【反則】全クラス上段膝蹴りは禁止／掴み、掴んでからの攻撃。／掌低、または正拳による押し。／拳・手刀・肘による顔面及び首への攻撃。／頭突き、金的への攻撃。／倒れた相手、背後からの攻撃。／故意に場外に出る事。／故意に倒れ、相手に攻撃をさせない事。かけ逃げなど。／頭をつけての攻撃。／抱え込み／以上の反則には審判より注意が与えられ、注意2回で相手に技有り相当(技有りと同等ではない)の判定ポイントになります。(注意4回)で失格(反則負け)となります。

防具	ヘッド ガード	拳 サポーター	甲・脛 サポーター	膝 サポーター	ファール カップ(男子) アンダーガード (女子)	胸 サポーター
男子	○	○	○	△	○	×
女子	○	○	○	△	△	△

着用義務○着用自由△着用不可×

- ※ JKJO 指定ヘッドガードを各自でご用意ください。レンタル用ヘッドガード数個用意。
- ※防具がない場合は失格となります。
- ※ヘッドガードにフェイスシールドを着用すること。鼻、口が隠れていれば種類は問わない。マスクでも可。

※JKJO ルールに準ずる。

※女子のTシャツは、白色を着用して下さい。男子は着用できません。※拳サポーター・甲サポーター・脛サポーター・膝サポーターは布製を着用する事。胸サポーター、胸部のみを守るタイプのみ可サポーターがない選手は失格になります。各部女子選手のアンダーガードは着用自由。JKJO 指定サポーターでなくても大丈夫です。黒のサポーター着用可。

注意事項

上段ヒザ蹴りは全クラス禁止とします/参加選手の少ないクラスは、統合もしくは中止する場合がありますのでご了承下さい/選手はスポーツ保険に必ず加入すること。未加入者は参加できません/試合中負傷または事故が生じた場合、主催者は一切責任を負いません/持って来たゴミは必ずお持ち帰り下さい/選手・付添い人・応援人・その他の人は、主催者の指示に必ず従うこと。従わないときは失格退場とします

形競技

試合形式 フラッグ、トーナメント制とし、赤白に分かれて勝敗を決する。

試合方法 赤・白の選手がコート内で同時に形を演武する。

形は、自由形とし、決勝戦まで同じ形を演武することが出来る。

自由形とは、基本形、指定形、自由形の全てを指す。

コートの中に入ったところから判定対象とする。

勝敗の決定 主審・副審による旗により上がった旗の数が多い方が勝者となる。

技の完成度を判定の基本とする。

失格 ①形を中断、②形名の申告間違い、③形間違い（すり替え）は演武後主審が副審を集めて失格とする

審判員 5 審制（主審 1 名 副審 4 名）または 3 審制（主審 1 名 副審 2 名）とする。

主審 ・主審は選手の形宣言のち笛「ピッ」で開始

終わり揃って「判定、ピーッピッ」で判定旗、（黙ったまま旗数え勝敗判明）（3～5秒待ってから旗を降ろす）、

「ピッ」で旗下ろす・「○の勝ち」（座ったまま宣言する）

・失格宣告（不戦勝も同じ）

赤が失格の場合、審議後、赤に旗を「取りません」の動作をした後「青の勝ち」と宣言をし、青旗を上げる。

副審 ・旗は赤が外側（例外：選手の位置に合わせた方を上にして。どちらが上でもOK。）で巻いて膝の上

選手 斜め入場・選手はコート外の角両端部分で礼

コート内の開始線へ進み、開始線で審判に礼

赤から形名宣言、各自で用意の構えに

開始

終わったら開始線で審判に対し礼

真っすぐ後ろに下がり（回れ右でも後ずさりでもOK）

コート外で判定を待つ

判定後に礼、互い礼で下がる

判定材料について（順不同）

- ・技及び着眼等の正確性
- ・技の強弱、緩急及び全体の調和
- ・各々の技が持つ意味の的確な表現
- ・安定感、完成度、確実度
- ・難易度（難しい技が入っている、足技がある等）
例）ふらつきながら難しい形と、確実に正しく易しい形、であれば確実な方が良い
- ・形に入る前、形ではない部分も見ると（歩き方、礼の仕方、態度、形の名前の言い方、姿勢等）
- ・ふらつき程度（グラグラしてしまっているか、こらえることが出来ているか）
- ・自信を持っているか
- ・全体と細部の両方を見る（全体的な流れ、整い方、緩急のつけ方、力強さ、立ち方、足の力の入れ方、目線手の握り等）
- ・形により異なるが、開始戦に戻っているか
- ・メガネは基本的にかけてはならない。その他、ヘアピンなど金物類はすべて禁止。
- ・不必要な効果音的な呼吸音（息吹以外）は減点対象となる
- ・四股立ちなどの腰の高さが不自然に低すぎる場合、判断基準として重要視しない（低ければ良いというものではない）

[小学4年生以下及び女子]伝統派防具付空手道 組手競技規定(刈谷市大会) R3年3月9日

本規定は、伝統派防具付空手道有志会が定めるものである。
 伝統派防具付空手道において、防具を着用するのは安全のためであり、防具そのものを攻撃目標にするためではない。
 防具を着用していなければ致命傷を負う恐れがある空手道本来の技で競い合うのが当会の基本理念である。

1. 服装等・男子のインナーシャツは禁止、女子は白のインナー着用とする。
 - ・ファールカップはズボンの内側にすること。
 - ・袖まくり、裾まくりは禁止とする。
 - ・怪我によるテーピングをしている場合は事前にコート長の許可を得る必要がある。許可を得ず、悪質または競技に有利となる故意なテーピングが発覚した場合は失格となり、試合結果は無効となる。

2. 試合時間(ランニングタイム)・防具等

男女とも	試合時間	面	胴	拳サポーター	足サポーター	ファールカップ
幼児	本戦1分30秒 (ランニング タイム 決勝戦のみ延 長戦:分あり)	なし(上段技禁止)	以下の物以外の 空用手胴(プロテ クター)を着用可とする	布製拳サポーター可 他、小中学生と同様	任意着用 布製に限る	任意着用
小学4年生 以下 及び女子		強力な上段突き 及び上段蹴りの ダメージを緩和 する機能を備え た空手用の面 であること	・ノンコンタクト用 ・ソフトタイプ	以下の物以外を着用可とす る ・ボクシンググローブ ・オンスグローブ ・バンテージ	男子着用不可 女子任意着用可 但し、布製に限る 色は不問	

*防具の不備による怪我は自己責任とし、当会は一切責任を負いません。

3. 「1本」及び「技あり」の判定基準

1本	<ul style="list-style-type: none"> ・正確、有効な突き、打ち、蹴りが定められた部位に決まり、戦闘不能となった場合。(正確・有効な技とは、正しい姿勢、充実した気迫、残心、適正な間合い、正確な攻撃目標の把握等を満たした技をいう) ・戦意喪失していないが、主審又はドクターが戦闘不能と判断した場合。
技あり	<ul style="list-style-type: none"> ・1本には及ばないが、それに相当する技 ・1本には満たない威力だが正確、有効な技 ・1本には満たないが相手の動きを一時的に止めた(封じた)場合 ・1本には満たないが相手に一時的な戦意喪失がみられた場合 ・1本には満たない威力だが、攻撃目標にタイミングよく正確に急所を射止めた場合

4. 勝敗の決定と延長戦

	本 戦	延 長 戦
小学4年生 以下 及び女子	(0-0) } (1-1) } →判定勝ち(引分け無・本紙5.参照) (2-2) } (1-0)、(2-0) } →判定勝ち(技ありの方が勝ち) (2-1) } (3-0)、(3-1)、(3-2) →1本勝ち	決勝戦のみ延長戦1分 (1-0) →先取り勝ち (0-0)、(1-1) →判定(引分け無・本紙5.参照) 本戦ペナルティーは持越す

5. 勝敗の判定材料と優先順位

- 1本>技あり>有効技数>攻撃数≧気迫(積極性) 注)有効技とは、いまま少しで技ありになるような技をいう。
 小学4年生以下及び女子は打突の強弱は問わない。

6. 懲罰 禁止事項(禁止行為・無防備等の反則)、場外はそれぞれ区別し、忠告後、以下の通りカウントされる。

	1回目	2回目	3回目
	警告	反則注意	反則
	相手に加点無し	相手に1P	相手に2P
	・既に忠告有、その後の軽微な違反	・既に警告有、その後の違反 ・「反則」に値しない重度の違反の場合、直ちに宣告される場合もある	・既に反則注意有、その後の違反 ・内容によっては直ちに宣告される場合もある

禁止行為	<ul style="list-style-type: none"> ・防具を着用していない背面部・後頭部・股間部への攻撃、腕部・脚部(下段蹴り)への攻撃(*幼児は上段への攻撃禁止) ・バックブロー(ハンド、エルボー)・フック(横突き)・アッパー(上段下突き)・肘うち・膝蹴り ・関節部・足の甲への攻撃(但し、有効技に繋がる足払いはその限りではない) ・頭部での攻撃 ・投げ技・掴みかかり(但し、片手での一瞬のつかみはその限りではない) ・組み打ち(片手及び両手を相手の背面に回した時点で違反とする) ・暴力的体当たりなど危険な行為(但し、間合いを取るための一瞬の押しは違反としない) ・倒れた相手選手へ直接打撃(突き、蹴り、打ち) ・技になっていない、上段への執拗な連打 ・不適切な間合いの上段突き(至近距離からの上段突きは腰が高く、空手の突きではなくなるため) ・得点の多い選手が逃げ回る行為
無防備	<ul style="list-style-type: none"> ・技をかけた後、後ろ向きとなり防御を解く行為 ・「やめ」の宣告がないにも関わらず、自己判断で競技を中断して警戒を解く行為
場外	<ul style="list-style-type: none"> ・故意に場外へ出て、相手に得点の機会を与えない ・競技の流れで片方又は両方が場外に出た場合、主審が「止め」を宣告し、両者を開始戦に戻し、競技を続ける。この場合、双方の罰則は課さない。

[小学5年生以上男子] 伝統派防具付空手道 組手競技規定 (刈谷市大会) R3年3月9日

本規定は、伝統派防具付空手道有志会が定めるものである。
 伝統派防具付空手道において、防具を着用するのは安全のためであり、防具そのものを攻撃目標にするためではない。
 防具を着用していなければ致命傷を負う恐れがある空手道本来の技で競い合うのが当会の基本理念である。

1. 服装等・男子のインナーシャツは禁止、女子は白のインナー着用とする。
 - ・フェールカップはズボンの内側にすること。
 - ・袖まくり、裾まくりは禁止とする。
 - ・怪我によるテーピングをしている場合は事前にコート長の許可を得る必要がある。許可を得ず、悪質または競技に有利となる故意なテーピングが発覚した場合は失格となり、試合結果は無効となる。

2. 試合時間 (フルタイム) ・防具等

	試合時間	面	胴	拳サポーター	足サポーター	フェールカップ
小学5年生 ～ 中学男子	本戦1分30秒 決勝戦のみ延長1分	強力な上段突き及び上段蹴りのダメージを緩和する機能を備えた空手用の面であること	以下の物以外の空手用胴(プロテクター)を着用可とする ・ノンコンタクト用 ・ソフトタイプ	以下の物以外を着用可とする ・ボクシンググローブ ・オンスグローブ ・バンテージ	男子着用不可	小学5年生以上男子着用義務
高校生以上男子	本戦2分 延長戦1分	主催者指定(主催者用意)				

*防具の不備による怪我は自己責任とし、当会は一切責任を負いません。

3. 「1本」及び「技あり」の判定基準

1本	<ul style="list-style-type: none"> ・正確、有効で威力ある突き、打ち、蹴りが定められた部位に決まり、戦闘不能となった場合。(正確・有効な技とは、正しい姿勢、充実した気迫、残心、適正な間合い、正確な攻撃目標の把握等を満たした技をいう) ・戦意喪失していないが、主審又はドクターが戦闘不能と判断した場合。
技あり	<ul style="list-style-type: none"> ・1本には及ばないが、それに相当する技 ・1本には満たない威力だが正確、有効な技 ・1本には満たないが相手の動きを一時的に止めた(封じた)場合 ・1本には満たないが相手に一時的な戦意喪失がみられた場合 ・1本には満たない威力だが、攻撃目標にタイミングよく正確に急所を射止めた場合

4. 勝敗の決定と延長戦

	本 戦	延 長 戦
小学5年生 ～ 中学生 男子	(0-0)、(1-1) → 判定勝ち(引分け無・本紙5. 参照) (1-0) → 判定勝ち(技ありの方が勝ち) (2-0) → 1本勝ち	なし
高校生以上男子	(1-0) → 判定勝ち (0-0)、(1-1) → 判定(引き分け) → 延長戦1分間 (2-0) → 1本勝ち	(1-0) → 先取り勝ち (0-0)、(1-1) → 判定(引分け無・本紙5. 参照) 本戦ペナルティーは持越す

5. 勝敗の判定材料と優先順位

- 1本 > 技あり > 有効技数 > 攻撃数 ≥ 気迫 (積極性) 注) 有効技とは、いまま少しで技ありになるような技をいう。
 小学5年生以上男子は打撃の極めがなければ有効技とはしない。

6. 懲罰 禁止事項(禁止行為・無防備等の反則)、場外はそれぞれ区別し以下の通りカウントされる。

	1回目	2回目	3回目
	警告	反則注意	反則
	相手に加点無し	相手に1P	相手に2P
	・既に忠告有、その後の軽微な違反	・既に警告有、その後の違反 ・「反則」に値しない重度の違反の場合、直ちに宣告される場合もある	・既に反則注意有、その後の違反 ・内容によっては直ちに宣告される場合もある

禁止行為	<ul style="list-style-type: none"> ・防具を着用していない背面部・後頭部・股間部への攻撃、腕部・脚部(下段蹴り)への攻撃 ・バックブロー(ハンド、エルボー)・フック(横突き)・アッパー(上段下突き)・肘うち・膝蹴り ・関節部・足の甲への攻撃(但し、有効技に繋がる足払いはその限りではない) ・頭部での攻撃 ・投げ技・掴みかかり(但し、片手での一瞬のつかみはその限りではない) ・組み打ち(片手及び両手を相手の背面に回した時点で違反とする) ・暴力的体当たりなど危険な行為(但し、間合いを取るための一瞬の押しは違反としない) ・倒れた相手選手へ直接打撃(突き、蹴り、打ち) ・技になっていない、上段への執拗な連打 ・不適切な間合いの上段突き(至近距離からの上段突きは腰が高く、空手の突きではなくなるため) ・得点の多い選手が逃げ回る行為
無防備	<ul style="list-style-type: none"> ・技をかけた後、後ろ向きとなり防御を解く行為 ・「やめ」の宣告がないにも関わらず、自己判断で競技を中断して警戒を解く行為
場外	<ul style="list-style-type: none"> ・故意に場外へ出て、相手に得点の機会を与えない ・競技の流れで片方又は両方が場外に出た場合、主審が「止め」を宣告し、両者を開始戦に戻し、競技を続ける。この場合、双方の罰則は課さない。